

大和郡山 防災ニュース 3. 1月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

消防団員を募集しています！

消防団員は、日常は自分の仕事を持ちながら、いざ火事や災害となった時、消火や救出活動等にあたる市民ボランティアです。本市の消防団は、市内19箇所の分団が、火災時の消火活動や鎮火後の再燃防止のための現場待機、大雨時の警戒活動や河川氾濫防止の土のう積み、行方不明者捜索などに出動しているほか、火の用心の防火啓発や新型コロナウイルス感染防止の消防車巡回広報を行い、また、市内全域で広報指導活動を行う企画広報分団による『避難所体操』紹介など市民のみなさんの安全安心に貢献しています。



大和郡山市の消防団の歴史

大和郡山市の消防団は、今から129年前の明治25年に現在の第一分団が国の認可を受けたのが始まりです。その後、市内各所で自主結成していた自警団組織の多くが加わり、最後に設立された企画広報分団を合わせて、20分団を擁する現在の消防団となりました。

なお、昭和40年消防署が発足するまでは、この市民ボランティアの消防団が本市で唯一の消防機関でした。

法律で位置づけられたみんなを支える地域防災力、消防団！

消防団は、どこにあるの？何をしているの？誰が団員になってるの？など、ご存じない方が多いと思います。特に、昭和40年代以降で、大阪のベッドタウンとしての本市にお住まいになられた方々にとっては、消防団は遠い存在かもしれません。

しかし、東日本大震災などの大災害では、消火、救助、応急復旧活動などに尽力し、地域になくてはならない存在として再認識されたことから、平成25年には「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が制定され、消防団は、地域防災の中核的組織に位置づけられています。

「防災のつどい」や地域の避難訓練で広域的な自治組織と連携！

本市では、平成28年度から「『自主防災組織』と『消防団』防災のつどい」を開催し、消防団の活動やその実情をご紹介し、地域との顔の見える関係づくりに努めてきました。消防団は、市主催地区防災訓練にも参加し、また、郡山地区で自治連合会との連携を図りながら避難訓練の実施を立案するなど、地域防災の確立を模索しています。

どんな人が消防団員になってるの？消防団入団の資格とは！

消防団員に入団するには、どのような資格が必要なのでしょう？
条例では、消防団の定員は、310名となっており、3つの条件、

(1)当該消防団の区域内に居住する者

(2)年齢18歳以上の者

(3)志操堅固で、かつ身体強健な者、これらに当てはまる方は、入団の応募を行うことができます。では現在、どのような方々が団員になっているかというと、分団によっては、一つの自治会で全分団員を確保したり、管轄の自治会毎に団員数を割り当てるなど、今まで、その確保の方法には地域性がありました。

核家族化、高齢化の中で団員の成り手が不足！

ところが、今まで各分団への人材供給を支えてきた地元自治会でも、近年は就職や核家族化などで若い方が地域に留まらず転出したり、また高齢化も進んでいることから、団員の確保が難しくなっているのが現状です。今まで旧村落など分団管轄区域の一部（世帯数でいえば1～2割）の自治会が全ての団員の確保を担ってきた分団からも、もう限界という声も聞こえてきます。また市街地では分団の管轄区域だけで団員が確保できないため、いざ火事や災害の時、遠方の自宅から駆けつけるのに時間がかかったり、なかなか新規団員が入ってこないため、平均年齢が高くなってしまいう分団も出てまいりました。

地域の安全安心を守るためあなたの力が必要です！ 女性のご応募も歓迎です！

このため消防団では、広く市民のみなさんから団員を募集しています。地域の防災やコミュニティ活動にご興味をお持ちの方、あなたの力をお借りできないでしょうか？女性の方も消防団員に応募していただけます。学生さんには「学生消防団活動認証制度」もあります。（男性・女性・学生さん共、消火・防災活動を行う地域の分団か、企画広報分団のどちらでも入団応募できます。）活力あるまちづくりには、その基盤を支える活動が不可欠です。志あるみなさんのご応募をお待ちしています。



自治会などの防災出前講座依頼も受付中！

少人数でも訪問します。市民安全課までご相談ください

このニュースは、市民安全課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます

[大和郡山防災ニュース](#) 🔍 検索

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください

[大和郡山市消防団へようこそ](#) 🔍 検索

発行人 市役所市民安全課